

本川越駅西口開設について

東京国際大学経済学部

本間立志

2019 年 01 月 28 日

要約

アンケート調査により、不確実性および異時点間選択に関する態度が本川越駅－川越市駅間理想歩行時間に与える効果が明らかになった。説明変数は、アレの反例、感応度逓減、時間整合、時間割引、損失回避に関する質問の回答である。外的基準は、理想歩行時間（0 分あるいは 5 分）である。数量化 II 類を用いた結果、時間割引に関する質問（あなたは、1 年後 10,000 円受け取るか、1 年と 1 週間後 11,000 円受け取るかのどちらかを選べるとします。どちらの選択肢を選びますか？）に対する回答のレンジが最大(2.1396)になった。相関比は 0.4438(第 1 軸)であり、判別的中率は 79.03%だった。

キーワード: アンケート調査, 不確実性, 異時点間選択, 理想歩行時間, 数量化 II 類

JEL: C80, D80, R40